

き ら り



Specialist



看護スペシャリスト によるライフサポート

加古川市民病院機構 理事
加古川中央市民病院 副院長
(兼) 看護部長

は な お か す み よ
花岡澄代



国民の4人に1人が65歳以上という超高齢社会へ急激に移行する中、入院患者さんの在院期間が短縮され、療養上の問題が解決できないまま退院となるケースが増えています。その結果以前に比べて、外来では医療依存度の高い患者の診療が増えています。しかし、医師や看護師の数も含め、従来の外来受け入れ体制では十分に対応できていない現状にあります。これらを解決する方策として、近年『看護外来（看護の専門外来）』を設ける病院が増えています。看護外来とは「専門的な知識や技術を持った看護師・助産師が、医師や多職種と連携を図りながら、通院治療中の患者さんやご家族が、ご自宅で安心して生活できるように個々の状況に合わせて療養の相談や指導、ケアの支援をする外来」です。これから更に高齢化が進む中、高度化する医療を支えるうえにおいても、看護外来は、更に重要な役割を担うことになる予想されます。

当院では2016年新病院開設からこれまで、妊婦健診や保険指導を行う助産師外来も含めて、8つの領域での看護外来を開設してきました。この度改めて、『看護外来』として正式に標榜する運びとなりましたのでご紹介したいと思います。

当院では現在スペシャリストとして、5人の専門看護師と19人の認定看護師、18人のアドバンス助産師が活動しており、入院病棟はもちろんのこと、看護外来でもその能力をフルに発揮し、様々な問題を抱える患者さんとそのご家族や妊婦さんに対して、質の高い看護を提供しています。

今後更に、地域包括ケアシステムが推進される中、地域で療養する人々の治療や出産を控えた人たちの暮らしを支える外来医療の役割が、ますます大きくなっていきます。看護外来もその一端を担い、医療と生活の両方の視点で、一人一人のライフスタイルに合わせた療養・保健指導、ケアの支援を専門的な知識と技術をもって実践し、当院の理念でもある地域の皆様の健康を支える役割を果たしていきたいと思っています。

看護外来とは、専門的な知識や技術をもった看護師・助産師が医師や多職種と連携を図りながら、在宅療養の継続が行われるよう支援する外来です。

当院の看護外来では、「いのちの誕生から生涯にわたって地域住民の健康を支え、頼られる病院であり続けます」という病院理念のもとに、8つの領域の看護外来を行っています。通院治療中の患者さんやご家族の個々の状況に合わせた療養の相談や指導、ケアを提供するとともに、妊婦健診や保健指導を行う助産師外来で出産前後の母子の健康管理やご家族も含めた育児支援を行っています。

地域の医師、看護師の皆様当院の看護外来の活動を知って頂き、安心して患者さんやご家族を紹介して頂けるように努力してまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

糖尿病療養指導外来

生涯にわたり継続した治療と療養を必要とする患者が、食事療法や運動療法、薬物療法を継続できるように、多職種で支援します。

対象者

- ・糖尿病で自己注射を行っている患者と家族
- ・療養生活に不安のある患者と家族



内容

食事、運動、
薬物療法に関する指導

インスリン注射、
血糖測定器の使用方法的指導

低血糖予防などの
セルフケア支援

社会背景やライフスタイルに合わせた
療養指導



糖尿病フットケア外来

足病変の発症悪化を防げるように、ケアの提供とセルフケアを支援します。

対象者

- ・閉塞性動脈硬化症、糖尿病神経障害、下肢の切断歴や足の潰瘍治療歴のある糖尿病患者と家族
- ・糖尿病専門医が、足の病変に対してケアが必要と診断した患者と家族



内容

足の観察方法・正しい靴の
選び方・火傷予防などの指導

清潔ケア、保湿ケア、
爪切りの方法などの指導

フットマッサージ、角質除去、鶏眼ケア、胼胝ケア、
巻爪のケア、足浴等の実施



一人一人のライフスタイルに合わせた

ストーマ外来

患者と家族が、日常生活の支障が少なく、生活の質が保てるように支援します。

- 対象者**
- ・ストーマ、腎臓、膀胱瘻を保有している患者と家族
 - ・自己導尿を行っている患者と家族



内容

ストーマ造設前
ボディイメージや生活様式の変化の説明と心理的支援

ストーマ造設後
体型、生活に応じた装具の選択やアクセサリーの紹介、交換方法の指導

ストーマによる皮膚障害予防など排泄全般にかかわるセルフケアの支援

ストーマ閉鎖後の排泄障害や性機能障害の対処方法の指導



リンパ浮腫外来

患者や家族のセルフケア能力とサポート体制をアセスメントし、リンパ浮腫のケアができるように支援します。

- 対象者**
- ・リンパ浮腫と診断された患者と家族



内容

圧迫療法（弾性着衣・包帯）の選択相談・指導

セルフリンパドレナージ指導

スキンケア・運動療法などのセルフケア指導



療養・保健指導、ケアの支援

がん看護外来

がん診療が高度化・複雑化している状況を踏まえ、がん患者と家族が安心して治療と生活が送れるよう支援します。

対象者 ・がんと診断された患者と家族



内容

こころのサポート外来
心理的支援や
意思決定支援

抗がん薬サポート外来
薬物治療の有害事象に
対するセルフケア支援

痛みのサポート外来
がん性疼痛などの苦痛な症状に対する
看護ケアや心理的支援



心不全看護外来

心不全の悪化を防ぎ、療養生活が送れるように支援します。心不全末期には、意思決定支援や不安の緩和に努め、患者や家族が大切にしていることを中心に、QOLが維持できるよう支援します。

対象者 ・心不全を発症した患者と家族
・心不全のリスクが非常に高い患者と家族



内容

日常生活に合わせた食事療法・
薬物療法・運動療法などの指導

心不全症状や兆候などのモニタリングや受診時期の指導

心理的支援



産後一週間健診外来

児を迎えた家族の新しい生活に合わせた育児指導を行います。そして、母親の産後のホルモンバランスの影響による身体の回復の確認や、産後うつ病質問票を用いて精神状態の評価を行います。

対象者 ・当院で出産した母子



内容

退院後の母子の健康状態の観察

ご家庭での育児状況の確認と
母乳育児指導や家族を含めた育児指導

育児に関わる不安への心理的支援



助産師外来

日本看護協会が認定する自立して助産ケアを提供できるアドバンス助産師が中心に行っています。アットホームな雰囲気のある部屋で、家族も一緒に分娩や育児への指導を行い、新しい家族を迎える準備と満足のある出産ができるように支援します。

対象者 ・当院に通院中の低リスクで助産師外来を希望された妊婦



内容

妊婦健診や超音波検査

妊娠中の過ごし方や
分娩に向けての身体作りなどの保健指導

家族も含めた育児や
母乳育児についての保健指導



連携医紹介

当院と連携いただいている医療機関をご紹介します。

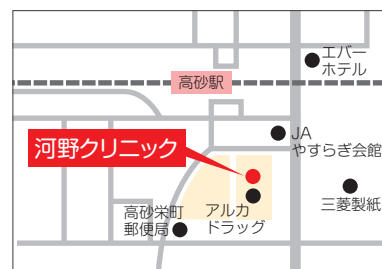
河野クリニック

診療科：外科／胃腸科／循環器内科

平成11年11月より、山陽電鉄高砂駅前で河野クリニックを開設しました。河野富雄と申します。昭和51年に神戸大学を卒業し、神戸大学病院の胸部外科で、循環器・呼吸器疾患の研究で学位を取得しました。その前後国立兵庫中央病院・高砂市民病院・製鉄記念広畑病院・神鋼加古川病院・IHI播磨病院を経て、郷里で今までの経験を生かし、幅広い家庭医を目指して診療しています。また西脇市立西脇病院での出張研修で内視鏡検査を学び現在も毎日実践し、「家庭医一貫」を座右として、プライマリ・ケアに徹して、心筋梗塞・肺癌・胃癌・食道癌等を発見すべく、現在加古川中央市民病院の先生方には大変お世話になっております。引き続き病診連携を深めていきたいと思っていますので何卒よろしくお願い申し上げます。



院長 河野 富雄 先生



所在地：兵庫県高砂市高砂町栄町373-1
駐車場台数：200台（共用）

TEL.079-444-2112

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:30～12:30	○	○	○	○	○	○	—
午後 16:00～19:00	○	○	—	○	○	—	—
※受付時間 8:00～12:00 15:30～18:30(水・土午後休診、日・祝休診)							

加古川皮膚科クリニック

診療科：皮膚科

この度、ご縁があり、ここ加古川の地に皮膚科・アレルギー科を開院することができ、非常に嬉しく思っております。

私は大阪医科大学附属病院で軽症から重症まで様々な皮膚疾患を学び、基幹病院や多くの医療機関にて臨床経験を積んでまいりました。

患者さんに寄り添う皮膚治療をモットーとし、近隣の患者さんに貢献できるよう、精一杯取り組んでまいります。

小さなお子様からご年配の方まで、皆さんが安心して通院できるようなクリニックでありたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



院長 大根田 康雄 先生



所在地：兵庫県加古川市加古川町栗津218-1
駐車場台数：12台

TEL.079-490-3332

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	—
午後 16:00～19:00	○	○	—	○	○	—	—
※受付：9:00～19:00(水・土午後休診、日・祝休診)							

11月19日 地域連携セミナーを開催しました！

以前ご報告いたしました通り、本年は新型コロナウイルス感染症の影響により、地域の皆様に直接お会いして開催する「地域連携会議」は、残念ながら中止させていただきました。

「地域連携会議」は、当院が地域の医療・介護施設等の皆様との連携を推進させていただくための重要なイベントと位置づけており、この度代替としてWebでのセミナーを企画・実施させていただきました。

多職種かつ兵庫県以外の方も含め、たくさんの方にご参加いただき、誠にありがとうございました。当院もWebセミナーの開催が初めてであったため、不手際も多く大変ご迷惑をおかけしたこと、この場を借りましてお詫び申し上げます。

来年度の「地域連携会議」が例年通り会場で実施させていただけるかは、現時点では非常に不透明な状況ではございますが、当院からの情報発信は情報誌「きらり」やHPなどを活用して、積極的に行ってまいります。

今後とも、よろしくお願い申し上げます。

帰国者・接触者外来が 増築移転しました！

11月より、帰国者・接触者外来の増築を開始し、12月に完成いたしました。以前は診察室、待合室が分離しており、車椅子で診察室に入ることは容易ではなかった点などを解消するために、病院北第三駐車場に建設しました。（2階建て・バリアフリー・トイレ完備）今後も増加が見込まれる発熱症状の患者さんに対応していきます。

また合わせて、正面玄関左の発熱等問診受付のコンテナも一新しております。

